感染症等情報紙
はっする

第 112 号
平成２５年
８月１４日発行

福井県嶺南振興局若狭健康福祉センター

８月は
食品衛生月間

食中毒多発注意報を発令中（8月5日～8月18日）

今年の県内の食中毒発生は 8 件(8/5 現在)で、そのうち 5 件がノロウイルスによるものです。ノロウイルスによる食中毒は冬季が中心ですが、今年は夏季にも発生しています。また、気温が上昇すると保管中の食品の中で細菌が増殖しやすくなりますので、食中毒予防の 3 原則（清潔、迅速または冷却、加熱）の徹底を心がけてください。

～県内の最近の食中毒事例～

◆7/28　越前市内の飲食店で食事をした 18 名中 16 名がおう吐、下痢等を発症。有症者 12 名の便からノロウイルスが検出された。

◆7/30　福井市内の飲食店が作った弁当を食べた 26 名中 10 名がおう吐、下痢等を発症。有症者 7 名と調理従事者 4 名の便からノロウイルスが検出された。

～県内の最近の腸管出血性大腸菌感染症事例～

◆福井健康福祉センター管内在住の女児 1 名が 7/24 から腹痛、下痢、血便、発熱の症状を呈し、溶血性尿毒症症候群を合併。

◆福井健康福祉センター管内在住の 60 代女性が 7/26 から腹痛、血便を発症。

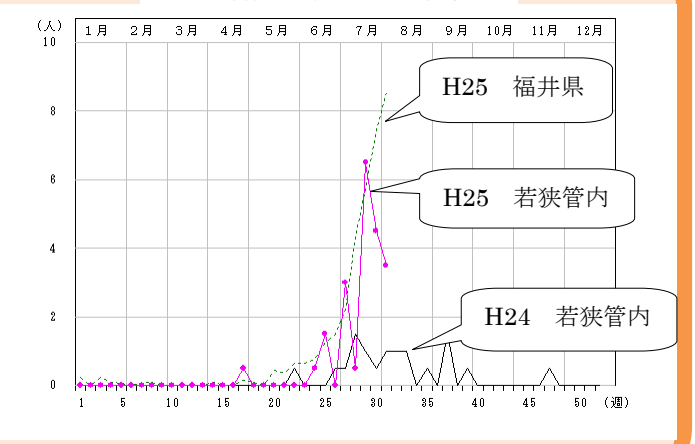
◆二州健康福祉センター管内在住の 10 代女性が 8/5 から腹痛、下痢、発熱を発症。

乳幼児に“手足口病”が流行中

今年は、全国的に過去 10 年で最大の流行だった H23 年に次ぐ流行となっており、県内でも 7/29～8/4 における定点あたりの患者数は 8.55 人で流行がはじまっています。

手足口病は、便や唾液などに含まれるウイルスが他人の口に入って感染するため、特に保育施設で集団感染することが多く、手洗いの徹底と排泄物の適切な処理が大切です。【参考】手足口病の Q&A

＜小児科定点あたりの患者数＞



若狭管内では散発に風しん患者が発生しています

全国的には、1 週間の患者報告数はピーク時の 5 分の 1 以下まで減りました。ただし、若狭管内では散発的に 5 月に 3 件、6 月に 1 件、8 月に 1 件発生しています。年代は、30 代 3 人、40 代 1 人、50 代 1 人で全員男性です。まだまだ、油断は禁物です。

福井県感染症発生動向調査速報
（第 27 週　平成25年 7 月 1 日～第 31 週　平成 25 年 8 月 4 日）

2類:結核　17 名(1 名)　4 類:レジオネラ症　1 名
5類:風しん　4 名(1 名)、アメーバ赤痢 1 名、破傷風　1 名
侵襲性肺炎球菌感染症　1 名　腸管出血性大腸菌感染症 2 名　後天性免疫不全症候群　1 名(1 名)
＊(　)内は若狭管内の発生

［発信者］　若狭健康福祉センター
地域保健課　木村・齊藤
TEL：0770-52-1300　FAX:0770-52-1058
ﾒｰﾙ：w-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp
※ご意見ご感想をお待ちしています。